

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | 兵庫県立阪神北地域新設特別支援 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 兵庫県川西市丸山台三丁目4番1、 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第1種中高層住居専用地域、防火地 | 平均居住人員 | 200人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 2,400時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 学校 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2023年10月 予定 | 評価の実施日 | 2023/10/30 |
| 敷地面積 | 26,322 m ² | 作成者 | 竹内 智彦 |
| 建築面積 | 2,272 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 8,003 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 90%

③上記+②以外の: 90%

④上記+: 90%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--------------|--|--|
| 総合 | 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。 | その他 特になし。 |
| Q1 室内環境 | 2.5% ≤ [昼光率], 500lx ≤ [照度] < 750。 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。居室の換気量は30m ³ /h人以上。 | Q2 サービス性能 教室の天井高が2.7mを超えている。階高: 3.9m以上。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。 |
| Q3 室外環境(敷地内) | 特になし。 | LR1 エネルギー BPI _m = 0.71 BEI _m = 0.76 |
| LR2 資源・マテリアル | LGS、OAフロアと鋼製床下地材を使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。 | LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物に対して89%。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される